

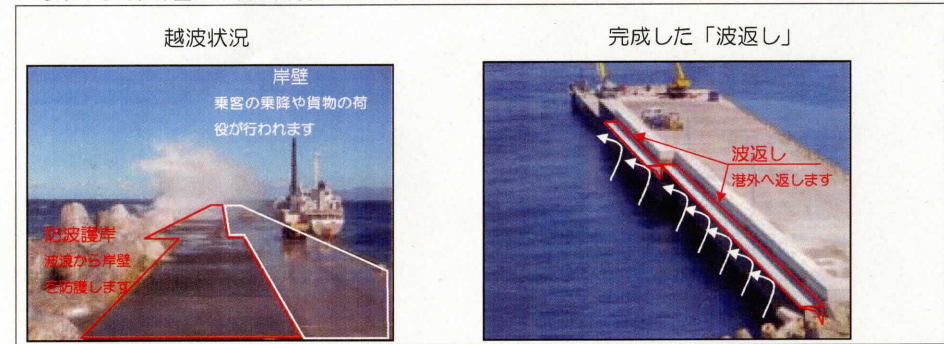
「ほうかん・くうじゆ」だより **Oshima・Toshima** 大島・利島

発行：平成22年9月

利島港における越波対策について

利島の岸壁では、厳しい波浪条件により、岸壁の港内側が穏やかで船舶の係留が出来たとしても、港外側から押し寄せる波が防波護岸を越えるために、岸壁上の安全な乗降や荷役に支障を来すことも少なくありません。

そこで、防波護岸に「波返し」を設置することで、押し寄せる波が防波護岸を越える前に港外へ返してしまふことで、岸壁上の乗降や荷役の安全を確保します。



岡田港の臨時駐車場について

岡田港の岸壁先端部では、7月末に用地造成を完了し、作業ヤードとして使用しています。それによって、従来の作業ヤードのうち一時的に確保できたスペースを8月1日から8月31日まで臨時駐車場として開場しました。

開場期間中は、大勢の皆さんにご利用いただき、また長時間の利用を避けていただく等、ご協力ありがとうございます。今後、造成地を有効利用することで、岸壁が使いやすいようになるよう只今計画中です。



航空灯火施設見学会が開催されました！

毎年9月20日は『空の日』。全国の各空港では、その近辺の日程で『空の日』記念のイベントが行われています。

大島空港でも9月12日（日）にイベントが開催され、チビッ子たちがデザインは本物そのままでも子供用サイズのパイロットや客室乗務員等の制服を着て写真撮影をしたり、管制塔や東京地方航空気象台大島分室の気象観測の見学、空港ではこんな仕事をしているよという内容の航空教室で学んだり、それぞれに空港への理解を深めつつ楽しんでいただきました。

大島港湾空港管理事務所も、イベントの一環として航空灯火施設の見学会を開催しました。午前中は、今回初めて「航空灯火整備作業所」で、航空灯火の整備や検査等をご覧いただき、「こういう整備をしているんだねえ！」という声も聞こえ、改めて航空灯火の重要性をご認識いただけたようです。

また、空港の供用時間を過ぎた夕方4：30からはバスに乗り込んで滑走路に向かい、皆さんのカウントダウンで滑走路の灯火を点灯！「おぉっ！」という喚声とも驚きともつかない声がわきあがりました。空港には様々な仕事や設備があり、それぞれがきちんと役割を果たすことで、航空機の安全運航に結びついているんだね…ということを知っていただけたと思います。

将来は…「空港で働きたい！」、「パイロットや客室乗務員になりたい！」。はたまた「メカニカルな仕事をしたい！」と、チビッ子に未来への夢を持ってもらえたら幸いです。



空の日…ってなに？

1910年（明治43年）に、徳川好敏と日野熊蔵ふたりの陸軍大尉が、代々木練兵場（現在は代々木公園）において、日本発の動力飛行に成功した日から30年経過を記念して制定された「航空日」が起源です。その後、民間航空再開40周年にあたる1992年（平成4年）、航空に対する理解と関心を高めてもらいたいとの趣旨により、毎年9月20日を「空の日」に。そして9月20日～30日が「空の旬間」となりました。

毎年全国各地の空港で、管制塔をはじめとする空港施設見学会、航空教室や写真撮影、飛行機との綱引きなどが開催されています。